

# 行事概要書

(県政記者クラブ配布資料) 平成22年1月9日

## 感染性胃腸炎（ノロウイルス）による集団感染事例について

平成22年1月9日、中央東福祉保健所管内の保育所で、入所児童及び職員にノロウイルスの集団感染が発生したことが判明しましたので、お知らせします。

なお、冬場をむかえ、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団感染が多く見られる時期となりましたので、健康づくり課ホームページに下記6の「予防対策と注意事項」を掲示し、県民の皆様に注意を呼び掛けています。

- 1 施設の概要 中央東福祉保健所管内の保育所  
入所児童：49人、職員：15人

### 2 発生の状況等

平成22年1月5日に、入所児童2人に嘔吐の症状が発生しました。

その後、6日に児童1人が下痢、1人が嘔吐の症状を発症し、7日以降も嘔吐を主症状とする入所児童及び職員の発生が続いたため、1月8日、施設から中央東福祉保健所に連絡がありました。

中央東福祉保健所が調査した結果、次のとおり、入所児童及び職員に感染性胃腸炎の症状を確認しました。

有症状者（平成22年1月9日現在、平成22年1月5日からの累計）

入所児童	: 11人（1歳～5歳）
職員	: 2人
計	: 13人

有症状者4人の検体（便）を県衛生研究所で検査した結果、1月9日に次のとおりノロウイルス（GⅡ）が検出されました。

### 検査結果（PCR検査による）

	検査人数	ノロウイルス陽性者数
入所児童	3人	2人
職員	1人	1人

### 3 患者（有症状者）の状況

嘔吐・下痢・発熱。重症者なし。また、1月9日の新たな発症者の情報はありません。

### 4 感染原因

個々の患者の発症時期にずれがあること、また同じ給食を食べた別のクラスからの発症者はいないことから、中央東福祉保健所は、食中毒ではなく、ヒトからヒトへと感染した感染症と判断しました。

### 5 施設に対する指導

中央東福祉保健所は、1月8日に、施設に対し、施設内感染の拡大防止・再発を防止するための衛生指導を実施しました。

### 6 予防対策と注意事項

- ・ 帰宅した時は、十分な手洗い・うがいをしましょう。また、食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗いましょう。
- ・ 下痢や嘔吐の症状がある場合は、食事を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。
- ・ 患者のふん便や吐物には大量のウイルスが排出されるので、直接手で触らないようにしましょう。

担当課：健康づくり課

担当者：別役・高橋

電話：823-9677

ホームページアドレス：<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/noro.html>